

**2022**

---

# CSR レポート



---

**MIYOSHI KASEI**  
**Group**

## トップメッセージ

CSR、サステナビリティ、ESG. . . 現在社会では、これらの言葉を目に、耳にしない日はありません。

地球温暖化の深刻な影響が注目されるようになってすでに久しいですが、特に近年は、気候変動による激しい異常気象が地球の各地に大きな被害をもたらしており、また人間社会においても、貧困・不平等・格差の問題は世界中で痛ましい紛争や不幸を引き起こしています。こうした問題の解決が地球と人類にとって急務であることはいうまでもありません。

そして、社会の公器である私たち企業も、サステナビリティ経営\*という考え方に基づいて、環境と社会への貢献を視野にいたした長期的な経営戦略を構築していくという使命を負っていると強く感じています。

三好化成グループは、2010年代の半ばからCDP、Ecovadis、UNGC等のプラットフォームに参加し、サステナビリティ活動を推進してきましたが、最初は、何をどこまで行えばよいのか、顧客要望や世の中の潮流に対応しながらも自グループとしてのサステナビリティ経営とはどうあるべきかを自問自答してまいりました。

そして今、原点に戻って三好化成グループの経営理念に立ち帰ったとき、創業者が大切にしていた言葉「誠意と品性」、そしてそれを基軸理念としたコーポレートメッセージ「Treating You Right」（後述）には、サステナビリティ経営に求められるすべてがこめられていると、改めて気づかされたのです。

私たちのサステナビリティ経営は、昨日今日に始まったものではなく、創業時から半世紀近くの間、サステナビリティの根幹ともいえる創業者の精神を受け継ぎ、そしてそれを企業文化に醸成しながら事業活動を行ってきたのだと感じています。

CSRやサステナビリティは、企業の経済活動とは別に存在するものではなく、経済活動の根底にあるべき「環境への、社会への、人へのやさしい想い」であると思います。

私たちは、「Treating You Right」の精神の下に生み出された私たちの製品と活動が、自分たちのステークホルダーやそれ以外のすべての人々と社会の発展・幸福に貢献すること、そして三好化成グループの企業活動そのものもサステナブルであり続けることこそが、私たちの存在意義であり、目標であり、三好化成のサステナビリティであると信じています。

私は、これからも三好化成グループのサステナビリティ活動を研鑽・実行・推進し続けていくことを、お約束します。

三好化成株式会社  
代表取締役社長  
臼井 仁

\*「企業は、様々な環境・社会問題の解決に取り組み、環境・社会を維持・改善していかなければならない。そしてそれを基盤とすることによって企業は持続的に成長することができる」という考え方

## 三好化成とは

当社はシリコンによる表面処理テクノロジーをいち早く開発し、商品化に成功しました。この結果生まれたのが、濡れたスポンジでも乾いたスポンジでもメイクができる両用タイプのパウダーファンデーションです。

その後、独自のノウハウと技術により、アミノ酸処理、レシチン処理、エステル処理など、各種の化粧品用表面処理技術を次々と開発し、この表面処理テクノロジーを、化粧品の製造に欠かせない高品質体質顔料（セリサイト、マイカ、タルクなど）や各種機能性粉体（微粒子粉体、シリカビーズ、パール顔料など）と組み合わせることによって、他に類を見ない画期的な製品群を生み出し、新しいコスメティックの開発に貢献しています。

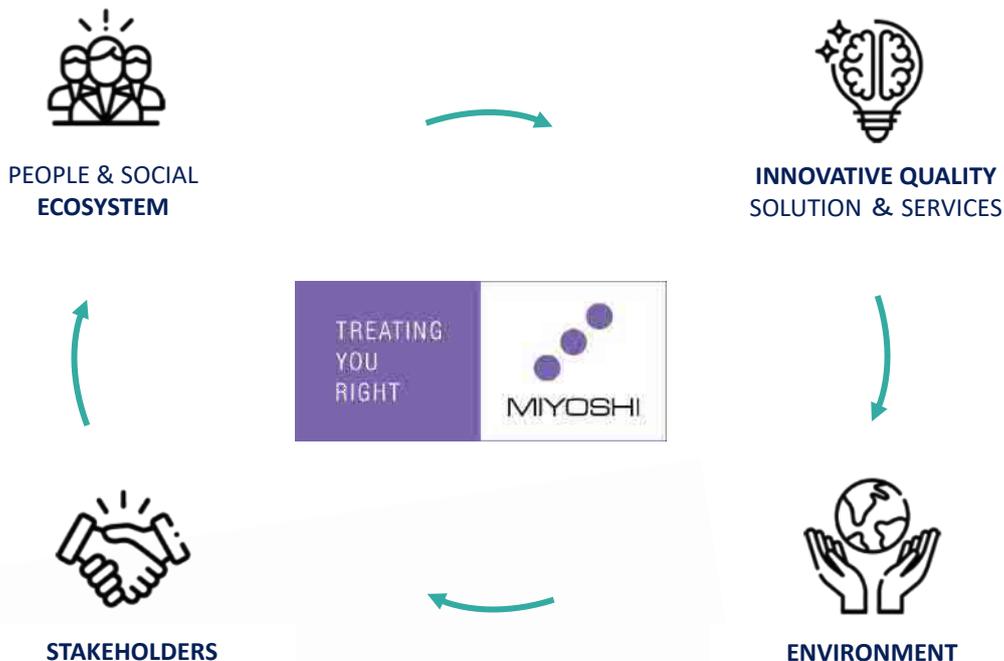
また私たちは、日本の三好化成株式会社、アメリカ（コネチカット州）の Miyoshi America, Inc.、フランス（リヨン）の Miyoshi Europe SAS、中国（蘇州）の三好化粧品材料（蘇州）有限公司の4極のグローバルオペレーションにより高品質な製品を世界各国へお届けしています。

## コーポレートメッセージ

「TREATING YOU RIGHT」：このコーポレートメッセージには、三好化成グループの理念である「誠意と品性」が企業活動の基軸ポリシーとしてこめられています。

このコーポレートメッセージに基づき、三好化成グループは、「安全で信頼できる品質」、「環境に配慮した事業活動」、「人権を尊重した遵法姿勢」、「すべてのステークホルダーへの配慮」をコミットしています。

コーポレートメッセージは、2015年三好化成グループの社員による応募の中から企業理念を表すスローガンとして選ばれました。社員一人ひとりが理念に沿って行動するために、オフィス内のポスターやレターヘッド、メールのテンプレートなどに使用され、常に目にすることができるようになっています。



このコーポレートメッセージは、私たちの持続可能な取り組みに様々なインスピレーションを与えており、2022 年度に発足した三好化成グループのグローバルサステナビリティイニシアチブ（SDPI：Sustainable Development Performance Initiative）の下で様々な活動に具現化されています。その一例が UNGC の原則への支持の表明です（2022 年）。

SDPI では、グループ各社の緊密な連携のもと、イニシアチブを実施・フォローアップしています。

私たちは、コーポレートメッセージの理念をグループ内の従業員だけでなく、外部のパートナーにも伝えるために、努力を惜しまないことを約束しています。三好化成グループは、化粧品原料分野の重要なステークホルダーとして、従業員、パートナー、消費者に向けて、明確で信頼性のある CSR への取り組みと戦略を提示していきます。

# 私たちの価値観



Treating you Right with **SAFETY AND RELIABLE QUALITY SOLUTIONS** **安全で信頼できる品質**

品質は、事業活動を行う上で重要な礎となるものです。私たちは、お客様にとって安全で信頼性の高い、高品質な製品をお届けすることをお約束します。

Treating our **PEOPLE AND SOCIAL ECOSYSTEM** Right

**人権を尊重した遵法姿勢**

三好化成グループの成長と発展は、一人ひとりの有能な従業員が情熱を持って仕事に取り組み、また一人ひとりがその責任を果たすことによって成し遂げられると信じています。



Treating our **STAKEHOLDERS** Right

**すべての利害関係者への配慮**

持続可能な社会の実現に向け、お客様・お取引先様・従業員・その他の関係者との交流を深め、長期的かつ有益な関係を構築しています。



Treating the **ENVIRONMENT** Right

**環境に配慮した事業活動**

環境は、三好化成グループのCSR戦略の中核を成すものです。関係する国や地域の環境法令を遵守して事業を行うとともに、私たちの活動が地球に与える影響の低減を目指します。



# 私たちの目標

持続可能な調達



## リスクアセスメント

- 2025年までに**80%**のサプライチェーンにCSR (デューデリジェンスプログラム)評価実施

## サプライヤーエンゲージメント

- 2024年までにお取引先の**80%**、2025年までに主要取引先の**100%**がCSR行動規範に署名

## サプライヤー評価

- 2025年までにサプライヤー（原材料・包装・物流関係）の**100%**を評価
- 2025年までにサービス・下請サプライヤーの**80%**を評価

労働慣行と人権



## ダイバーシティ&インクルージョン

- ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進
- 2025年までに管理職の**100%**にダイバーシティとインクルージョンの研修を実施
- 2024年までに**100%**の従業員にハラスメントと差別に関する研修を実施
- 2023年までに内部通報制度を整備
- 2024年までに内部通報制度を100%の従業員に周知

## 児童労働・強制労働

- 2024年までにサプライチェーンのデューデリジェンスプログラムを実施

## 労働条件

- 2023年までに各拠点に労使対話の環境を設ける

## キャリアマネジメント

- 勤務時間の1%を研修に充てる
- 年間パフォーマンス・レビュー率**100%**

## 安全衛生

- 2024年までに全拠点でリスクアセスメントを実施
- 労働災害**0**

公正な事業慣行



腐敗防止

- 2023年の継続研修を含め、従業員の**80%**が腐敗防止の研修を受講
- 2023年までに営業・調達・経理部門の従業員の**100%**を対象に、より高度な研修を実施



公益通報

- 2023年までに内部通報制度を整備
- 2024年までに内部通報制度を**100%**の従業員に周知



情報セキュリティ

- 従業員の**100%**を対象に、情報セキュリティ・情報開示管理全般に関する研修を実施

環境



GHG排出量

- 2030年までにScope1および2のGHG排出量を**50%**削減する
- Scope 3を評価し、2023年までに行動計画を策定する

水

- 2024年までに水に特化した戦略を策定

廃棄物

- 2025年までに**100%**の事業所で有害廃棄物の廃棄量の把握も含めて管理
- 2024年までに廃棄物の**80%**を分別処理する

取り組み

- 2025年までに梱包材の**25%**に再生材を使用



9-2729-18-100-00

# 三好化成グループ KPI

三好化成グループCSR指標報告							
三好のCSRの重点課題	Focus area	KPI	2021	2022	目標	SDGs	
 INNOVATIVE QUALITY SOLUTION & SERVICES		<ul style="list-style-type: none"> <li>表彰件数</li> <li>お客さま向けセミナー開催数</li> </ul>	0	2			
			10	16			
 PEOPLE & SOCIAL ECOSYSTEM	キャリアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンス・レビューを受けた社員の割合</li> <li>研修に費やされる労働時間の割合</li> </ul>	99.1%	99.1%	100% /年		
	社会政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性社員の割合</li> <li>管理職における女性社員の割合</li> <li>労使対話の環境を求めるサイトの割合</li> <li>ダイバーシティとインクルージョンに関する研修を受けた管理職の割合</li> <li>ハラスメントと差別に関する研修を受けた従業員の割合</li> <li>男女の入社時給与の比率</li> </ul>	35.9%	36.4%	100% /2023年		
	人権・平等・多様性		29.2%	34.9%	100% /2025年		
			100%	100%	100% /2024年		
			1:1	1:1	1:1		
安全衛生	従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全衛生リスクアセスメント実施事業所の割合</li> <li>前年度のリスクアセスメントに基づく是正処置の割合</li> <li>労働災害発生率</li> </ul>	75%	100%	100% /2024年		
			61%	59%	75% /年		
			0.85	0.77			
	ソーシャルネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>慈善団体への寄付の割合</li> </ul>	0.0115%	0.1890%			
 STAKEHOLDERS	ビジネス倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>腐敗防止に関する研修を受けた従業員の割合</li> <li>営業・調達・経理部門の従業員に対する腐敗防止に関するより高度な研修を実施した割合</li> <li>内部通報制度の研修を受けた従業員の割合</li> <li>デューデリジェンスプログラムを実施した主要サプライチェーンの割合</li> </ul>	9.83%	100%	80% /2023年		
			9.83%	9.00%	100% /2023年		
			0	65%	100% /2023年		
			0	0	100% /2024年		
	情報セキュリティ		<ul style="list-style-type: none"> <li>一般情報セキュリティ・情報開示および管理に関する研修を受けた従業員数</li> </ul>	74%	100%	100% /2025年	
	持続可能な購買	サプライヤーの関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動規範に署名した主要サプライヤーの割合</li> <li>行動規範に署名した全サプライヤーの割合</li> </ul>	49%	60%	100% /2025年	
			9.0%	5.2%	80% /2024年		
	サプライヤー評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR調査票によって評価された主要サプライヤーの割合</li> </ul>	50%	65.2%	100% /2025年 (主要サプライヤー) 80% /2025年 (全サプライヤー)		
 ENVIRONMENT	環境倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物のリサイクル率</li> <li>梱包材に含まれる再生材の割合</li> </ul>	21.5%	43.1%	80% /2024年		
			19.60%	29.1%	25% /2025年		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>2018年度比CO2排出量 (Scope1&amp;2)</li> <li>Scope3の評価対象</li> <li>GDPスコア</li> </ul>	-40.0%	-28.2%	-50% /2030年	
			25%	100%	100% /2023年		
			C	B-			

# 2022 年 サステナブル活動 実績



## 顧客満足度



### Goal

当グループは、お客様・お取引先様との協働により、市場やお客様のニーズに応える革新的な方法を見出すことを目標としています。

私たちの製品に満足して頂くための、お客様へのサポートは、私たちのサービスにおいて最も重要です。

### KPI

- 2 技術革新に関する表彰件数
- 16 お客様向けセミナー開催数

### パッケージングソリューション

Miyoshi America は、お客様と緊密に連携し、すべての関係者のニーズを満たすパッケージングソリューションの開発に取り組んでいます。2022年には、出荷時のパッキング効率を向上させるため、ドラム缶から箱へパッケージング方式を移行し積載量を増やすことで出荷コストの削減と出荷に伴う温室効果ガスの削減を実現しています。



### CoWoP (Coalition for Worker Ownership and Power)

Cowop は、2022年にヨーロッパで開発されたサービスであり、協調と透明性を重視したアプローチを通じて、お客様による新しい革新的な製品やサービスの開発を支援します。プロジェクトモードで管理され、プロセスのすべてのステップにおいて関係者間で多くの情報交換が行われます。





# キャリアマネジメント



## Goal

私たちは、定期的なパフォーマンスレビューと社員研修の実施により、社員が才能とスキルを伸ばし、実践できるように支援することをお約束します。これにより、社員の懸念事項に積極的に対処し、仕事のやり方を改善します。

## KPI

**99.1%** 社員がパフォーマンスレビューを受けている割合

**0.71%** 研修に費やされる労働時間の割合

### 才能とスキルを伸ばす

2022年にMiyoshi Europeで行われたプロフェッショナルインタビュー（2年に1度）を通じて、社員が自分の成長やキャリアアップの希望、受けた研修について話し合う機会を提供しました。

これにより、人事部との建設的な対話を通じて、社内のキャリアに関わることができるようになりました。



### 新入社員の声

“新入社員として、私はMiyoshiの社員の成長と発展に対する献身的な姿勢に感銘を受けています。Miyoshiは、リーダーシップ開発コースやスキルアップワークショップなど、継続的なトレーニングと開発の機会を提供しており、社員が潜在能力を最大限に発揮できるよう支援するという明確な取り組みを示しています。”

Gair Laucius –  
Senior Manager Regulatory & QA





## 人権・平等・多様性



### Goal

人権は、企業にとって最も重要なものです。

私たちは、私たちのグローバルな活動とサプライチェーンにおいて、確実に人権が尊重されるように努めています。三好化成の目標は、平等な機会、多様な労働力、すべての人が尊重される職場を促進することです。

### KPI

**36.4%** 女性社員の割合

**34.9%** 管理職における女性社員の割合

**100%** ハラスメントと差別に関する研修を受けた従業員の割合

**25.4%** ダイバーシティとインクルージョンに関する研修を受けた管理職の割合

**1 : 1** 男女の入社時給与比率

### 多様な働き方推進企業に認定

三好化成は、2018年より、多様な働き方を推進する企業として埼玉県に認定されています。



### 意識向上のトレーニング

三好化成グループは、社員の人権意識を向上させる為の社員教育を毎年行っています。この取り組みを通じて、社員が自分自身の価値を認識し、人権が守られていることを感じられる職場環境を作り出す事に努めています。





## 労働者の健康と安全



### Goal

三好化成グループは、すべての従業員に安全で健康的な労働環境を提供することを目標としています。すべての拠点は、リスクを特定・評価・軽減するためのプログラムを実施し、リスクを最小限に抑え、安全のための意識的な行動を促進するように努めます。

### KPI

- 100%** 安全衛生リスクアセスメント実施事業所の割合
- 0.77** 労働災害発生率

### メンタルヘルス

三好化成では、毎年全社員を対象に「ストレスチェック」を実施しています。精神的ストレスに関する質問票を送付し、その回答を医師が分析します。その結果は、社員一人ひとりにフィードバックされます。



### 安全へのメッセージ

「誠意と品性」という経営理念とともに、以下の重要なメッセージを各施設に掲示しています：

“安全は私たちの最優先事項です”

人の安全...

製品の安全...

設備の安全...

環境の安全...”



- Miyoshi America -



## ビジネス倫理



### Goal

三好化成グループは、腐敗防止に関する従業員の意識向上の取り組みを強化しました。また、主要なサプライチェーンにおいて、デューデリジェンスプログラムを実施することで、サプライヤーのトレーサビリティを強化し、ビジネス倫理を実践していることを確認できるようにする予定です。

### KPI

- 100%** 腐敗防止に関する研修を受けた従業員の割合
- 65%** 内部通報制度の研修を受けた従業員の割合
- 0%** デューデリジェンスプログラムを実施した主要サプライチェーンの割合
- 100%** 一般情報セキュリティ・情報開示及び管理に関する研修を受けた従業員数

#### 腐敗防止に関する研修

2022年に、各国の拠点にて腐敗防止を含む企業倫理に関する意識向上研修がすべての従業員に実施されました。

腐敗を防止するためのより詳細な手順を今後作成する予定です。

#### 内部通報制度

グループ内の3社ではすでに、従業員が汚職、賄賂、セキュリティ等に関する懸念を安全に報告できるように、内部通報手続きを導入しています。また社内のみならず、外部弁護士への通報ルートも整備されています。





## 持続可能な調達



### Goal

私たちは、原材料が当社の品質基準や一般取引条件だけでなく、CSR 戦略にも適合するよう、サプライヤーと協力して取り組んでいます。また、取引先との取引においては、当社と同じ行動規範を厳守することを求めています。

### KPI

**60%** 行動規範に署名した  
主要サプライヤーの割合

**65.2%** CSR 調査票によって  
評価された主要サプライ  
ヤーの割合

### 主要取引先への CSR 調査票



2022 年、主要なサプライヤーに対して CSR の実践について調査を実施し、その回答に基づいてスコアリングを行いました。持続可能な調達に向けて共に成長していく為に、意識、管理、専門知識など、関与するすべての実行レベルでのフォローアップが必要です。

### 持続可能なパーム油

当社の原料の中には、パームに由来する成分が含まれているものがあります。三好化成グループは 2018 年に「持続可能なパーム油に関する円卓会議（RSPO）」に加盟し、現在、関連する Miyoshi の各拠点は RSPO サプライチェーン認証を取得しています。





## 環境負荷の低減



### Goal

法令遵守にとどまらず、地域社会との調和を図りながら、環境保全に向けた取り組みを実践していきます。気候変動対策は数年前から優先的に取り組んでいますが、その他の環境テーマ、特に水については、今後重要なテーマとして取り組んでいきます。

### KPI

**43.1%** 廃棄物のリサイクル率

**29.1%** 梱包材に含まれる再生材の割合

### 廃棄物削減ソリューション

Miyoshi Europe は、ある顧客とのサプライチェーンの中では、複数の小さな単一袋ではなく、大きな袋を使用する事にしました。2022年に完全稼働し、このサプライチェーンに関連する廃棄物を大幅に削減することが可能になりました。



### 水使用量の削減

アメリカやヨーロッパの拠点では、製造排水を減らすために、より長い連続生産や効率的な洗浄手順などを実施しています。これにより、製品の品質仕様を同じ高水準で維持しながら、排水の使用量を減らすことができます。





## 気候



### Goal

三好化成グループは、SBTi（Science Based Targets initiative）に沿って、明確で測定可能な温室効果ガスの削減目標を設定して、環境への取り組みを行うことを宣言しています。2030年までに Scope1、2 関連排出量を 50%削減することを目標とし、Scope3 削減のための行動も行っています。

### KPI

**-28.2%** 2018 年度比の  
CO2 排出量（Scope1&2）  
**100%** Scope3 の評価対象  
**B-** CDP スコア

#### 太陽光パネル

##### Miyoshi America

Miyoshi America は、敷地の隣に太陽光パネルを建設し、2022 年に 229MWh 以上の電力を発電しました。

それに伴う排出削減量は約 95tCO<sub>2</sub>eq です。

この発電量は、施設内の電力需要の約 35%をカバーしています。



#### 節電

Miyoshi Europe では、オフ時の電力消費を抑えるために、いくつかの機器にタイムスタンプを設定しています。機器のシャットダウンや設定値を下げることで、2022 年の電力消費量の減少を達成しました。



# Next Step

2023年、三好化成グループは、各拠点の戦略を連携させ、地域のニーズや機会に適応したアクションプランを採用することで、コミットメントをさらに強化します。

また、グループ全体でCSR活動を正しい方向に推進していけるよう、方法や評価を統一し、ベストプラクティスの共有化を図ります。

主な活動テーマは以下の通りです：



CSRの主要テーマ（腐敗、人権）に関するリスクアセスメント方法の確立

主要なサプライチェーンにおける人権に関するデューデリジェンスプログラムの実施



腐敗防止、内部告発に関する従業員への研修、および関連規定の整備

グループ全体の Scope3 の評価



脱炭素アクションプランの作成

弊社のCSR憲章と関連する方針は、弊社ウェブサイト  
(<https://www.miyoshikaseigroup.com/csr/>) でご覧いただけます。



## **三好化成グループ :**

### **三好化成株式会社**

〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目3番14号 市ヶ谷ガラスゲート5F

### **Miyoshi America, Inc.**

110 Louisa Viens Dr. PO Box 859, Dayville, CT 06241, USA

### **Miyoshi Europe SAS**

5, Rue Paul Rieupeyroux, 69800 Saint-Priest, FRANCE

### **Miyoshi Suzhou, CO., LTD.**

No.26 SUB-Industrial Zone, No.666 Jianlin, Road, Suzhou New District, Suzhou City, Jiangsu, CHINA 215151